

ハストス週報

青嵐 36

第八五五
昭和四十一年
九月二十三日
発行

DIRETOR
KOITI MORI

REDATOR
SHION ODA

RUA PRES.
VARGAS 188
C. POST. 112
FONE 40
BASTOS
C. P.

ANUAL
CR. #
4.000

REG. N.º 4576 São Paulo, P.

テーニンエーヅマーを戒める

第一話

つい数日前、手近かであった雑誌を読むと、東京・青葉中学の生徒で十五才と十四才のローテーニンが蓼科高原で心中したという記事が載っていた。蓼科高原で、という見出しである。文の終りに誣訪署の係りの談として、「死にあこがれる気持は昔も今もかわりはないが、昔の若人の心中はお互いに、きれいな体で死んでいたが、現代はちがうようだ。」

どうやら「天国に結ぶ恋と骨まで愛して」が一しよになつたような死に方をしてゐる。この二人は茅野市で買った蓼科高原の地図をたよりに山に登り、六月十三日の夕方、用意の青酸加里をコーラに入れて同時にのみほし、女の子のレーンエイトを掛けて、二人は大人のように、しつかりと抱き合つて死んでいた。

第二話

同じ雑誌に、愛知県碧南市に起つた、無分別な青年の「恋のシマモモノは殺せ」がのつてゐる。

二十一才の青年が二十になる愛人との仲を裂かれたと曲解し、恋の邪魔をしたと想像される野々山という男をピストルで追いまわした話である。

ところが狙われた当人野々山は、その日豊和織布という会社に居らず難をまぬかれたが、ピストルの所持人、駐在所の巡査は不運だった。

パトロールの時間が来たので出かけようとする処へ、赤シマツの青年が署に入つて来て、道を尋ねるので、何気なく壁の地図を指して説明してゐると、うしろから覗きこんだ青年は、いきなり短力でごつくりと一と突き。

巡査のひろむ隙に腰のピストルを強奪して逃げた。巡査は起き上つて後を追つたが、力つきて倒れた。(幸に生命はとりとめてゐる。

妻は本署に電話をかけ、自転車で青年の後を追つた)

赤シマツ青年は豊和織布会社に押入ッ

あなたを
癌からまもる

わかもと
わか化粧品は
あなたをより美しく

わか石けん クリーム
ポマーダ 香水
各薬局でおえらびください



わかもと製薬株式会社
わか美容化学研究所

C.P. 3656
SÃO PAULO

郵函 三六五六番、サンパウロ

Sapataria Bastos
FONE 55

御婦人のお靴は
最新型を



紳士靴は皮革の良いい店早川
商店へ
電話五五 郵函一五九

早川靴店

て、実弾二発をぶつ放し、課長を人質に野々山を出せと脅したが、課長は命からがら室外にのがれ、青年は数十人の防弾チョッキを着た警官に包圍され逃げられもつきて捕えられた。

ピストルを入手するため、巡査を突き殺す事件は、本年、東京にも、京都にも起つてゐるが、犯人はいずれもテーニンエーヅマーなので、恐ろしき十七歳一などという

言葉が流行した程だ。無分別なというのには必ずしも十七、八歳とは限らず、思慮の浅い者への警告であるが、それにしても、第一話と第二話と第三話と第四話と、何ともしや常軌を逸しすぎているので呆れる外はない。激動地帯の如き国、日本の断面を見せつけられるような青少年の犯罪、致死事件が多く、その外にも数多く、人気歌手に硫酸をぶっかけたり、フアルコに出ている歌手に切りつけたり、コマドリの子と妹とまぢがえて無理心中をしかけたり、数え上げれば限りのない、どつとすろ話ばかりである。

コロニアの社会にも殺傷事件が多く、又か又かと寒けを覚えるが、幸いにも準青年や若者たちの中から無軌道なハネ上り行為をなす者が表われなかつたことは幸といわねばならぬ。一時はタバコ学生、エロ少輩が輩出して、バストスなどの狭い地域でも誠に目にあまるものがあり、そして今も相変わらず、根絶したわけでもあるまいが、ひどい醜聞をさかない。これは教育者、父兄各位の指導よろしきを得ているのと、生徒たちの自衛にまつ者が多いが、要するに放任主義に流れず、学問の習得、同時に徳育指導が大切であることを示すものであるが、大いに子渉し、大いに目を光らせていたたたきいたのと思う。

子供がタバコを^{カノコ}見て「お前も一人前になつたなあ、小遣いは何ぼでもやるからウエストミンスタでも何でも喫うがいと父兄が奨励したら、どんなものであるう。お前も、もう青春じや、セックスの事もあるだらう」と、余分な金を与えるようにしたら、どんな事になるであらう、経済的にも自立してない十代の少年は、ぐんぐんと引締めなければならぬ。あま、やかまし、てはいけないというのが、吾々の主張である。そして目にあまる行為があれば厳として取り締るべきである。子弟を救う道であるからである。さきの第一話をよむと、両家とも開放的であつたが、あまり二人が親密な形で、まぢがいがなければよいが……と思つていたという。手を打たなかつた親の不注意である。

現在の私は枯草のような心境で、こんなことを平気で去うようだが、若い頃の母の鏡を思い出すと慄然たるものがある。

硬くて美しい
谷口の白色
レンガ



建築に 塀に 井戸側に
リノボリス郵便一六七
谷口 送一

Olaria Taniguti
Rinopolis C.P. 167

御禮
一金 二十コントス也
去る九月十一日、故父上の三十五日忌注要をなさいました際、追善のため御寄贈下さいました、
厚く御礼申上げます
バストス仏教婦人会
山根 三郎様

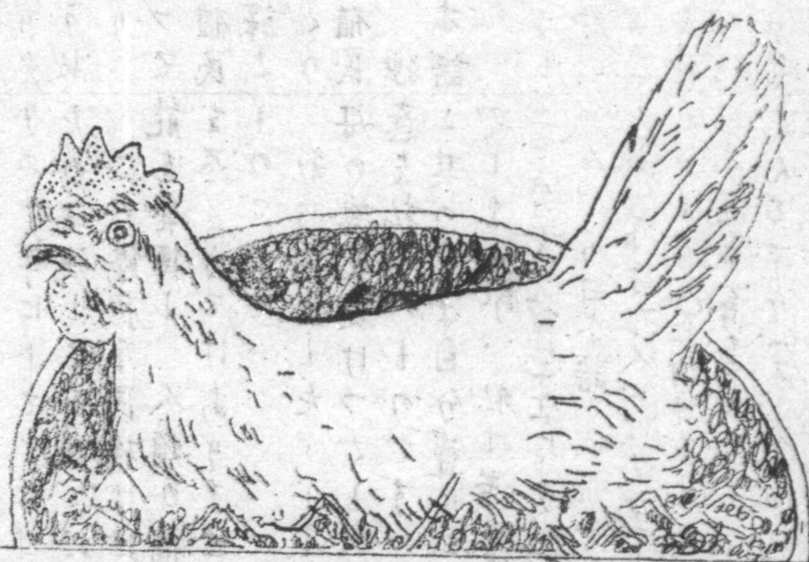
御礼
金 二十コントス也
故父上敬治様三十五日法要の際追善のため御寄贈下さいました
厚く御礼申上げます
バストス南米本願寺
山根 三郎様

早熟な私は十七才の夏避暑に行つた海岸で懇意になつた土地の娘と長く文通するようになった。
ある日不用意にも娘から来た手紙を母に拾われてしまつたが、母は此りもせず私に返してくれた。その時「お前は中学生ではないか。勉強一心にならなかつた」と云つただけだったが、鉄槌の響きがあつた。
十八の時、バーでウイスキーの初飲をやつて足が立たなくなり、よろよろしながら家に帰つて来たが戸締り厳重で中に入れない。
戸口の処に倒れておると通りかかつた巡査に見つかつた。尋問された、わけを話すと「何だ、この家の子か」といつて、自分で戸をたたき「お宅の息子さんが外に居ますよ」と声をかけて行つてしまつた。戸をあけてくれたのは母であつた。父も賑をさましたようであつたが、何とも言はなかつた。この無言の叱正は可なり身にこたえ、当分謹慎をつづけた事を覚えている。
かくれて遊んで出かけたこともある。

Balbeach

B-300

ハフコック



BARBICOCK

Chicks

TRADEMARK

世界的經濟鶏

訪日

觀光記を終えて

小沢 勇

永らくの間御愛読下さいました私の訪日紀行文の旅行中ものした所は前号を以つて終りました事を深く感謝致します。私の訪日中深く感じました事は、日本の交通、工業、教育、其の他の文化の進歩であり、戦後灰燼の中から、且つ極度の物質欠乏の中から敢然として立ち上り、世界一流の文化を築き上げた大和民族の偉業であります。

を呈して明眉な風光の間にはぐくまれてその発展の限度は不明でしう。大和民族特有の精神文化の発達か叫ばれ、非常な生長率を示して居り、相互扶助の一大和の精神と勤勉と誠実の精神の発揚であり、此の精神文化と物文化が渾然と一体になり、無限の発展を上げるのが、祖国日本の姿でありましよう。私が各所で、幾会あるごとに叫んだのは、ブラジル国並に、在任人系人との文化の交流の強化でありました。中でも留学生の交換を最も必要とする点を強調し、後続移民の渡来を叫びました。

たと言え一農家に行きましても、台所にトルネラが付いて居り、これをヒネルと自動的に井戸のポンプとリリーがして水が流れる如く、如何なる山村の一軒屋にも電気が通じている。という風に、只々驚の他はありませんでした。道路の如きも主要線は全部アスファルトであり、今や国土改革命のロードガンにより、到る所、何処もかしこも道路の拡張工事であり、セメント工業は全国河川の河原を無くするんではないかと思われるまで、全国的に大生産工場の様相

黎明の国ブラジルの千古の大原始林地帯、ソテナテマツトや北パラナの広大な新天地を開発し、今やアスファルト道路は四通発達し電燈に電話に、最新の文化に浴して居る現状に達成せられたのは日本人の力が六十%を占めて居るとわ伯国知名人の等しく高調する処である。それは、在伯日本人は、等しく、我日本人也の自覚があるからである。即ち我等は世界で最も優秀な民族であるとの誇があるから、とますますストーレス(劣等感)に陥ちいりやすう二世三世を日本に送り、父母の国の現状を見せるたけでも彼等に

FATECの新製品

合理的飼料配合は

POLIMIX

ポリミックス

病氣の子防、ストレスの解消には

PANFRAN

パンフラン

完全消毒殺菌は

ORTOZOOLO

オルトゾール

REPRESENTANTE YASUHIKO KANKE

RUA 10 DE NOVEMBRO	Nº 446	% BASTOS
RUA MARTIN AFONSO	Nº 64	% 1273 P. VENCESLAUERS.
RUA JOSE BONIFACIO	Nº 278	% 9196 S. PAULO 2. AND. % 208

ニ頁よりつづく

かくれ遊びをして金に行きつまり、情死沙汰を起した浪華の恋の物語りの主人公、忠兵衛のようになれなかつたのは、一つは私の卑劣な理性によることもあるが、青春期の竹を蔭になり、目立たなくなつてかばい、指導してくれた母の慈愛、父の愛をもらつて、いつくしんでくれた恩義を思う時、うたた慙愧に堪えないものがある。

私が声を洩らしてティーンエイジャーを指導するは親の義務だと叫ぶ理由は自らの体験を通じて感ずるからである。失礼

糸音

四頁よりつづく

皆さん、自分の子は、最早日本と縁が切れたんだから日本語の必要はないと思われようか、自分の子は日本語留学なんて出来っこないんだから、日本語は不要だと去われるでしょうか。

現在日本に留学している子弟の親は、はたして自分の子を日本に留学させようかと考えて子供の時から教育したでしょうか。又留学生採用に当っては、日本語の少くも出来ることと去う事を条件の一つに入れて居ないでしょうか。日本語が出来ないと去う事のみで、切角満点の子弟でありながら、其の逆に満れた人はいない

じようか。

前述のドイツ人三世の言の通り優秀な民族程自国語の伝承に力を入れて居るでしょう。

現に全世界の富の八の%を所有して居るといわれるユダヤ人は各地で排斥せられる時、宍倉の中で子供にユダヤ語を教える時、冗舎のユダヤ語を教える時、過日の週報紙によります。

に協力し合つて日本語教育を徹底させた意味が書かれてあり、真本論吉氏の活躍が記されていて、実に頭の下がる思いでした。

我がバスターズの今日あるも開祭当時から種々の事件に民族独特の相互扶助の精神が発揮せられた賜ではないでしょうか。小さい一例を挙げても入植祭の演舞場、あちこちの係の人達が見えない所の仕事も一心にやり、はじめに踊子が、歌手出場も出来、最も引き立てられ、観衆を喜ばせる事も出来るでしょう。

国家は種々の学校を建て、月給を支辨した教師を派して、国民教育を盛にして居るだけありませんか。

独力独歩邁進しななくてはならぬ日語教育に、日本人は相互扶助の精神を發揮して自分達の子孫に優秀な魂を注入し、祖国の文化を吸集し、偉大なる国民として伯国の発展、そして人類の福祉増進の

6
爲充分な活躍の出来る人物養成の基礎を
造りたいと思ひます。
私が訪日の結論として最も痛切に感じ
た点は此日本語教育の徹底化であり、そ
れによつて伯国将来を背負つて立つ大人
物が輩出する事が出来るとの確信をもつ
て本文を終るものであります。 終り

寄稿
足跡 (九) (十)
シネマ撮影
福 滝 温

何処からどんなものが来てはバスとス
が除外される事の殆どないのは昔も今も
変わらない。
小さな町に住む私達には羨望の限りだ
が、テノールの藤原義江氏が来た時も二
日二晩の出演であつたと思ふ。
その以前に變り種は、横浜教育映画撮
影会社から、同胞の生活実況を撮影して
故国の人に紹介する爲、撮影班が来た事
がある。(私は大きなムゲンサ、六回に
小さなムゲンサは十回位しているのだ。
其のドサクサ紛れで、古い記録を殆ど失
つて了い、日時、人物其他明細に記せな
いのが残念である)

此のキネマ班が撮影して廻つたのは、
奥地ではバストスとリンズ位でなかつた
かと思つて居るが、製糸工場へも版で押
したように来られた。
そしてあちこち撮影して、最後にバス
トス音頭を入れる事になつたので、大急
ぎで皆に準備させた。
而も此のキネマ班は珍らしくトーキ録
音器も携帯して来て居り、バストス音頭
は工場前の広場でトキーキー附で撮影され
た。大底の場合には、無声で寫して、後か
ら(此の場合には日本で)トキーキーを入
ると言ふ事であつた。

何処でどう話が決つたのか知らないが
製糸工場には、麗な娘さんが多勢居る
といふので、臨時俳優として、萬搔や、
棉摘、珈琲採取にまで持ち出されること
になつた。
其の時々々で班長が任命され、娘さん
を引率して行つたのだが、棉摘には鈴木
清人氏が行き、珈琲採取には私が付いて
行つた。G.I.区の越智さんの農園が撰定
され、採取から篩分け、乾燥、袋詰、運
搬と全般をフィルムに納めた。

越智さんより少し奥のシチオで山焼が
始まつたので、キネマ班は大喜び、赤い夕
陽の満洲の様だと張り切つて、山焼の火
が近辺の山に飛び火し、馬に乗つた人があちこ
ち運絡に走り廻り、又、火消しに奔走す

ろといふ場面を撮つたりした。
テレイ口の仕事も終り、袋に詰めた珈
琲を精撰工場へ出すと云う場面で、珈琲
袋がカミニニオン一台の半分もない事に気が
付いた。
山盛り横んだカミニニオンが收穫の希望
を載せて町に出ると云うのにこれでは困
る。何とか方法はないかと言ふ。
致し方がないから色々考へて、まん中
を空洞にして、周囲だけに積み上げる事
にした。
袋物を積み上げる時はアマゾンと云
つて、くずれないようにする爲に袋と袋
とを順々に組み合わせ、行くのだが、それ
がないから一寸車が傾くと、もう治ちを
うになる。
それを落さないように気を付けてユック
リユックリハンドルを取り、珈琲運搬の場
面を終つて我々は引き揚げた。
此の場面は後日リンス方面で撮り直し
たと聞くが、此のシネマは、日本で南
十字星は招く、と言ふタイトルで上映さ
れたと聞く。
私達も一度見たいものと思つたが、我
々の生活を日本の人に紹介するのだから
一寸無理な望みであつた。

職場結婚

狭い工場に多勢の独身青年男女が一緒
に働いて居たら、其の中から色々といふ
面白い話題が出て来て、不思議はないだろ
う。而も親の監督の眼から離れて、自由
奔放な行動が取れるとしたら、仮に監督
が付いて番をしていたとしても大した変
りはないと思われ、
一例を挙げると、嘗て聖市ブラタク本
部に勤めていた頃、ブラ拓に勤めて苦学
をしていた若者達の爲に寄宿舎があり、
常任舎監がいて、日本語の勉強もさせて
いたが、全部夜学に行つていたのに対し
、帰舎の門限が定まつていた。
其の時間が来ると舎監が門扉を閉して
鍵を掛け、寮の戸口も閉鎖していたが、
それでも夜半過ぎに一、二時頃に帰つ
て来るのが数人居た。

普通なら家に入れないのだが、門扉を
飛び越え、部屋には同僚に窓を開けても
らつて入るのだから処置なした。この
これは舎監の監督以前の問題だが、こ
んな事でも簡単に規則を無視した行動を
取るのだから、これが摩訶不思議な引力
を備えてゐる男女の仲の事となると、
止められるものではない。
箱入り娘にさえ虫が着くと云うのだけ
ら、押して知らべしてあるう。
若い者が二三人集つたら、娘さん倒り
争はれからないが、必ずと云つてよい程
モツサの話であらう。

高圧線に注意

養鶏家に引込んである
電気の高圧線は一万一千
ボルトですから、その線の下
に大きな樹木を植えたり
するのは危険ですから、伐り取っ
て下さい。又、導入箱のある下

Aviso de E.E.V.P. ATENÇÃO

の辺が草にならない様、御注意
下さい。漏電、引火の危険
人命に及ぶこともありますから
くれぐれも御注意をお願いします
各電気会社へ御協力下さい
るよう、御注意までに御知らせ
いたします。

句会おしらせ

来る十月二日(日)夜七時

会場 宮崎北眼居(宮崎真館)

兼題 踏青(青き踏む)

通じて八句 当日持参 不要

例句 葎生えて植木並みの古畑 息城

踏青や古き石階あるばかり 虚子

遊女の帯の緋も青き踏む 多佳子

あなたも御参加下さい

社

御長男の御結婚祝として記念のため御

贈下さいました。厚く御礼申上げま

す。

御

御

御

井上源次郎様

雨夜の品定めを思ふしく、自分等の配偶

者としての希望や感想で賑かな事、あつ

さりしたのがよいとか、おとなしいのが

良いとか、大柄、小柄種々雑多な意見で

姉さん女房も逆もよいと云うたとか、その

果は誰と誰が怪しいいや、誰と誰とは

仲違ひしたとか、中には二人の中を取り

持って感謝され、それを又話の種にして

噂をバラ撒いて喜んで居る連中もあり、

退屈凌ぎの話題には事致かなかつた。

其の多くのカッフルの中では矢張り旨

く行つたのや、行かなかつたものもあり、

一寸悲劇に行きつたものもあつた。

度くゴール、インシした教組もあつた。

処で一番年が行つて居たと思えるA君

、お直方意気投合して結婚した人なり

、工場主任に仲介を依頼した。

そしたらその主任、私の事も既に耳にし

ていたと見え、いやはやと突っ込んで

随分根気よく條理を尽して話したりた

が、父兄がとうとうして、おとや言わない

仕方がなしに、一応引き揚げて、来たどの

事、その時A君は何とも言わず唇を噛み

しめていたが、其の日から暫くたつて

主任の諒解のもとに従業員住宅の一軒を

借りて、相手の娘と同棲生活に入つてし

まつた。

これには工場のものも町の人もビック

リした。小説の上では度々読んで知つて

いる事柄でも、まさか、実際に目の前に

自由結婚が実現されると思つても見な

かつたので、ケンケンゴトゴトと噂の種

となつた。

流石に父兄達も致し方ないと折れて出

て、後日盛大なる披露宴を張つた。

私が思うには、親としては何回か、娘

を貰ひに来て欲しかつたかして、勿体な

けていたのだらうと。日本では一回で話

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

ていたのを聞いてわいたが、結納金は二百針で、式服用の純絹布地を何米か贈り、あとは日本酒一本、スルメ、昆布等の祝儀品まであった。住居の方もブラ拓従業員住宅、五軒長屋の一角を無料で借り、産業組合の商店で寝台（コシヨシ付）で百五十針、鍋釜其他少し宛、それと、新婚早々朝寝して人の物笑いの種となつて、困ると、眼覚時計（五十針）一個、これが全部の買物で、工場の方からは荒削りのペローバのメーザ、及びバンコ、食器棚一個、細いものは工場か友人達が少し宛プレゼントして呉れた。

花嫁さんの荷物も、布団一組にコーラ一個、それとミシン一台であつた。ミシンと云えは開えは良いが、三四回の月賦が掛けてあるだけで、残りの月賦は三年がかりで、二人共嫁ぎで掛つた次第、洋服箆笥其他は、お金の予備が出来たに於いて少し宛調つて行つた。

現今のカザメントを見ると、花嫁さんの方では洋服箆笥一式に化粧鏡、ミシンは申す迄もなく、其の他、大抵カミニョン一台位ある。誰かのムダンサかと思つてある。勿論ムダンサには違いないが、即ち花嫁さんのムダンサだから。

新郎の方でもそれに依つて、應接室セツト、エツパのセツト、冷蔵庫に洗濯機、フォゴニンテガス、ラジオに最近ではテレビまで備えてあるものもある。

私達の時の貧弱さとは比べて其の違ひの大きさにビツクリさせられる。こんな準備をすると何千コントス掛かるのか見当もつかない。その上未だ披露宴があるのだから、少々のお金では結婚も出来ない事になる。

娘一人嫁がせるのに四千コントス、五千コントス掛つたと云う人が私達の知人中にも段々ある。誠に今昔の感に堪えない次第である。又考えて見ると、それだけエロニアの人々のフトエロ具合も段々良くなつていくことか。

勝ち負け物語り

執筆に当りて 糸音

第二次世界大戦（大平洋戦争）がすんでから今年は二十一年目に当る。これまでも当時のバストスに起つた事件の記録でも綴つておこうと思つたこともあつたが、どうもあと味の悪い思出なので見合せて居た。

処が時々日本から来た人に尋ねられたりするので、あまり老耄せぬうち書き綴

つて見る気になつた。資料なども散逸しているのが充分なものは書けぬが、もし御心当りの点があつたら御教正いただきたい。どちらへも依頼願ひなしに叙述するつもりだが、私自身大ぶやられた方なので多少はお目こぼしを願ひたい。記録といえはバストス自警団に関する記述が何にもないのので、当時のことを知つて居る崎田氏などの記憶によつて再現した部分もある。この小説は歴史ではないので記述に多少の誤差があつても、あとで訂正するにこの御寛恕を乞う次第である。

目屎齒屎

勝負物語 糸音作

溝川氏暗殺

私が溝川氏の死を知つたのは一九四六年三月某日の夜の事である。風呂から出て暫く本を読み、横になろうとして居ると、道路の方面に自動車があり、突然警笛が激しく鳴つた。何事かと飛び起きてサーラの扉をあけると門の辺に居た人影が、こちらへ走つてくる。Oさん大変だ……と息切れするようになったのは組合に勤めて居る古川君で、どうしたんだ？と問い返すまもなく、溝川専務が殺されたんですと、うわすつた声で言う。

その日の夕方、古川君は処用で組合を出て帰宅しようとして数歩歩いた頃、糸部の向側に居る溝川氏の家のあたりで時ならぬ銃声がきこえた。

邸内も何やら騒がしい様子、そこで、すぐ引きかえして、邸内に入って見ると、溝川氏が何者かに庭で狙撃された直後であつた。

溝川夫人によると八時頃裏庭あたりで突然ピストルの音がしたので、コジンニアの戸をあけると、主人がふらふらとして足どりで、両手を胸に当て、戸口までやつと辿りつき夫人が声をかけるひまもなく、その場にうすくまるように倒れてしまった。

古川君が表口からとび込んだのは恰どその時刻であつたらしい。家族の人々に手伝つて溝川氏をカーマに横取こせたが、その時はすでに事切れていて、ほんとにあつというまの出来だつた。

古川君は各種部の人達にも知らせ、組合の久保山理事や、その付近に住んでい
る私の処へ大急ぎで自動車を送り、たの
みである。

久保山氏も私もその車で溝川邸へ行っ
た。時刻は十時頃であったが、もうその
時は急変をきいて市中に住んでいる組
合関係の人々は大方見舞に馳せ付け、邸
内へごつた返して来た。

私たちが遺骸の横たわっている室に入
り、夫人に言葉をかけたが、
「まあ何と云うことでしょうか。主人を殺
すなんて……泣くばかり。
白布を取りのけてあつたので見ると顔
ははれつぱたく、鼻孔から出血している
らしく、ガクガクと押えてあつた。

久保山氏は礼儀正しく挨拶をしてい
たが、私は座に居たままなかつた。
何とも形容のしようもない複雑な気持
で死顔を見つめていたが、遂に不気にな
つて、いそいでサウラに戻つた。

そこに居た大勢の人にも殆ど沈黙があ
り、けかりだつた。あまり突然な凶事に度
胆をゆかれ、虚脱状態になつていたので
あろう。

そのうち数人の兵隊をつれてデレガー
ドがやつて来て、そこに居た溝川さんの
縁者たちに様子を訊ね、再び自動車にの
つて、凶徒が逃げたと思われ、C区の方
角へ疾走して行つた。

ぼつぼつサウラに話声が起る。
「臣道連盟もいまテロをやりに出した
のかね」
「ブラックリストがあつて、バスターズで
も二十人とか、三十人とか名がのつてい
るぞうです」

「たれか、そのブラックリストを見た人
でもあるんですか」
「いやそれはよく知りません」
「僕の名はのつていなかつたでしょうが」
「君みたいな小物じゃだめだ」
「かすがは笑ひも起つたが、場所が場所だ
けに、再びいそいそ話を變つてゆく。

「気のせいだが、私の方を注視してい
るような気がしてならない。本来なら何
か遺族の人達に、アジューダしなれば
らぬ気持だが、急に気分が悪くなつて、
そつと玄関口から前庭に出た。

「まあよ、いよつとすると、おれもやら
れるぞ」
「ブラックリストの話は、私も耳にしてい
たが、冷笑して、臣道連盟というも
のの組織もよく知らず、テロにまで暴走
するとも思つていず、仲間だけの気持だ
と見くびつていたが、現在その犠牲の第
一号が実現して、いるので、何か急
ぎがした。

「サウラに居た人達の話を綜合すると、溝
川氏暗殺の犯人は、溝川氏が外側から出
た瞬間、背後からピストルを押しつけて
発砲したものである。
弾丸が心臓を貫いたのを確認するも
もどかし、哀のレンガが塙をのり越えて逃
げたという事になる。
しかし、隣家のジョンソン氏は、ピスト
ルの音に驚いて窓を開けた瞬間、鉄柵が
ある表門の方へ走る人影を見とめたとい
つて居る。

「前説だと、塙の外には白馬がつかれ
ていて、犯人は馬にまたがつて逃げたこ
とになり、ジョンソン説だと表側は道路で
外灯もついて居るし、走つて逃げる間に
は人目につく筈だろう。
その夜、村方面から来た人の話による
と、恰どその時刻と思われ、頃白馬にの
つて逃走する人影を見たといつて居る。
追跡していつたデレガーは、深更疾
つて来たぞうだが、遂に得る処はなかつ
たらしい。
自動車の通る道は日道まで調べたが判
らない。横道に外れたとすれば夜中のこ
とで捜査の方法はない。
知人の家へでも飛び込んで、かくまわ
れしよえばおれまでだ……」とデレガ
ドは洩らしたぞうだが、その夜の捜査は
どの程度であつたのか、真相は不明だが
「かくまう家」といふ言そのことは、後
でさういふ話だが、実際かくまつた家があ
つたぞうである。

溝川氏の住宅はバスターズ市中とはい
病院の裏側にあたる郊外への出口にあ
り、夜ともなれば人通りもさみしく、そ
うした犯行を実施するには犯人にとつて
都合のよい場所であつたといえる。
その条件と計画を計算して狙われたと
すれば、到底防ぎようもないわけだし、
まして不意をつかれたとしたら、ひとた
まりもないであろう。
その上、溝川氏はテロの手にかかると
とて夢にも考えて居なかつたであらうし
、客観情勢から云つても、テロ騒動が起
るとは考えられなかつた。
うす気味の悪い賭組の示威運動がない
で、なかつたが、このことは後に必ず觸
れることにする。

溝川邸を出た私は、シネマ館付近のバ
イルで火酒をひっかけたが、今夜中
も、おれは知られるかも知れぬ……
という恐怖が、しるりに襲いかか
る。

「やられる、その事については恐ろしい
とは思わなかつたが、背後から一発で射
貫かれてはおしまひだと思つると同時に
いかにも馬鹿けて居る。あゝ狂犬みた

「溝川邸を出た私は、シネマ館付近のバ
イルで火酒をひっかけたが、今夜中
も、おれは知られるかも知れぬ……
という恐怖が、しるりに襲いかか
る。

「やられる、その事については恐ろしい
とは思わなかつたが、背後から一発で射
貫かれてはおしまひだと思つると同時に
いかにも馬鹿けて居る。あゝ狂犬みた

「やられる、その事については恐ろしい
とは思わなかつたが、背後から一発で射
貫かれてはおしまひだと思つると同時に
いかにも馬鹿けて居る。あゝ狂犬みた

「やられる、その事については恐ろしい
とは思わなかつたが、背後から一発で射
貫かれてはおしまひだと思つると同時に
いかにも馬鹿けて居る。あゝ狂犬みた

「やられる、その事については恐ろしい
とは思わなかつたが、背後から一発で射
貫かれてはおしまひだと思つると同時に
いかにも馬鹿けて居る。あゝ狂犬みた

「やられる、その事については恐ろしい
とは思わなかつたが、背後から一発で射
貫かれてはおしまひだと思つると同時に
いかにも馬鹿けて居る。あゝ狂犬みた

「やられる、その事については恐ろしい
とは思わなかつたが、背後から一発で射
貫かれてはおしまひだと思つると同時に
いかにも馬鹿けて居る。あゝ狂犬みた

「やられる、その事については恐ろしい
とは思わなかつたが、背後から一発で射
貫かれてはおしまひだと思つると同時に
いかにも馬鹿けて居る。あゝ狂犬みた

